

## 会派視察報告(共産党)

一月二十五日から二十七日の日程で視察・研修を行いました。鎌倉市と渋谷区では、建築物等や、ワンルームマンションに係る紛争の予防調整に関する条例を研修しました。いずれも急増する中高層マンションやワンルームマンションの建設で生じている問題を近隣住民と業者が相互の立場を尊重し、互譲の精神をもって自主的に解決するために作られた条例で行政が紛争を予防するとともに、紛争が生じた時は、あっせんや調整を行なうというもので、一定の効果があるとのことでした。

町田市では子どもセンター「ばあん」の運営と町田市子ども憲章について研修しました。「ばあん」は、小学生から高校生までが利用している児童館ですが、運営委員会の主役は、小学校四年生から高校生までが参加している子ども委員会です。遊びの内容から各種イベントまで子ども委員会が主体的に決めていくことでした。また、子ども憲章も、子どもスタッフが中心となって草案作りを行って作ら

れたということ、いずれも「子どもが主人公」の立場が反映されており、大変感銘を受けました。

川崎市ではオンブズパーソン制度を研修しました。市政に関する苦情処理である市民オンブズマンと子どもや男女平等に関する市民の人権侵害に対して相談や救済の申し立てができるオンブズパーソンの二つの制度があり、市民の申し立てを簡易迅速に処理し、公正・中立な立場から監視、市の機関に勧告したり意見を述べる事ができるよ

## 会派視察報告(創政会)

創政会は十一月十六日から十八日にかけて、会津若松市の下水道整備基本構想の見直し、守口市の子育て支援センター、大津市の学校自由選択制について視察を行った。執行部へ資料提供し情報の共有化も図った。

会津若松市では平成十四年三月県の下水道整備構想の見直しに伴い、施設の建設費及び維持管理費等の経済比較を行った上で集合処理区と個別処理区の違いの見直し、整備区域に適

した事業の選択の見直しを行い整備スケジュールを基に事業が進められていた。経済的かつ効率的な整備法について参考になった。

守口市では子育て中の親の孤立感や不安感の解消を目的に「子育て支援センター」が市民保健センター内に開設され、子育てに関する情報交換の場と共に、子育て支援ボランティアサークルの養成講座が定期的開催されていた。又ファミリーサポートセンターも隣設して、子供の一時預りのシステムが整備されていた。既存の施設が有効活用されており参考となった。

大津市では「学校自由選択制」が実施されていて、保護者のニーズへの対応と、児童生徒数の不均衡改善を目的とし、小・中学校の新生徒を対象に通学路の安全が確保でき教室に余裕がある場合、希望する学校を自由に選択できる制度である。多い学校で十数名、ほとんどの学校が二、三名の変動しかなく過大解消にはならなかった。春日市においても校区で規制せず、一部希望に添えるよう試みてはどうかと思料される。

## 6月議会日程予定

- 七日本会議 議案の上程、提案理由の説明、議案の考案)
- 八日 休会(議案の考案)
- 九日本会議(議案質疑、委員会付託)
- 議会運営委員会
- 十日 各常任委員会(議案審査)
- 十一日 休会(閉庁)
- 十二日 休会(閉庁)
- 十三日 各常任委員会(議案審査)
- 議会報編集特別委員会
- 十四日 各常任委員会
- (議案審査)
- 十五日 日本会議(一般質問)
- 十六日 日本会議(一般質問)
- 十七日 各常任委員会
- (議案採決)
- 十八日 休会(閉庁)
- 十九日 休会(閉庁)
- 二十日 議会運営委員会
- 各常任委員会
- (閉会中の調査事件の調整等)
- 二十一日 日本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)